

月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料

令和5年4月25日

内閣府

<日本経済の基調判断>

<現状> 【判断維持】

景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

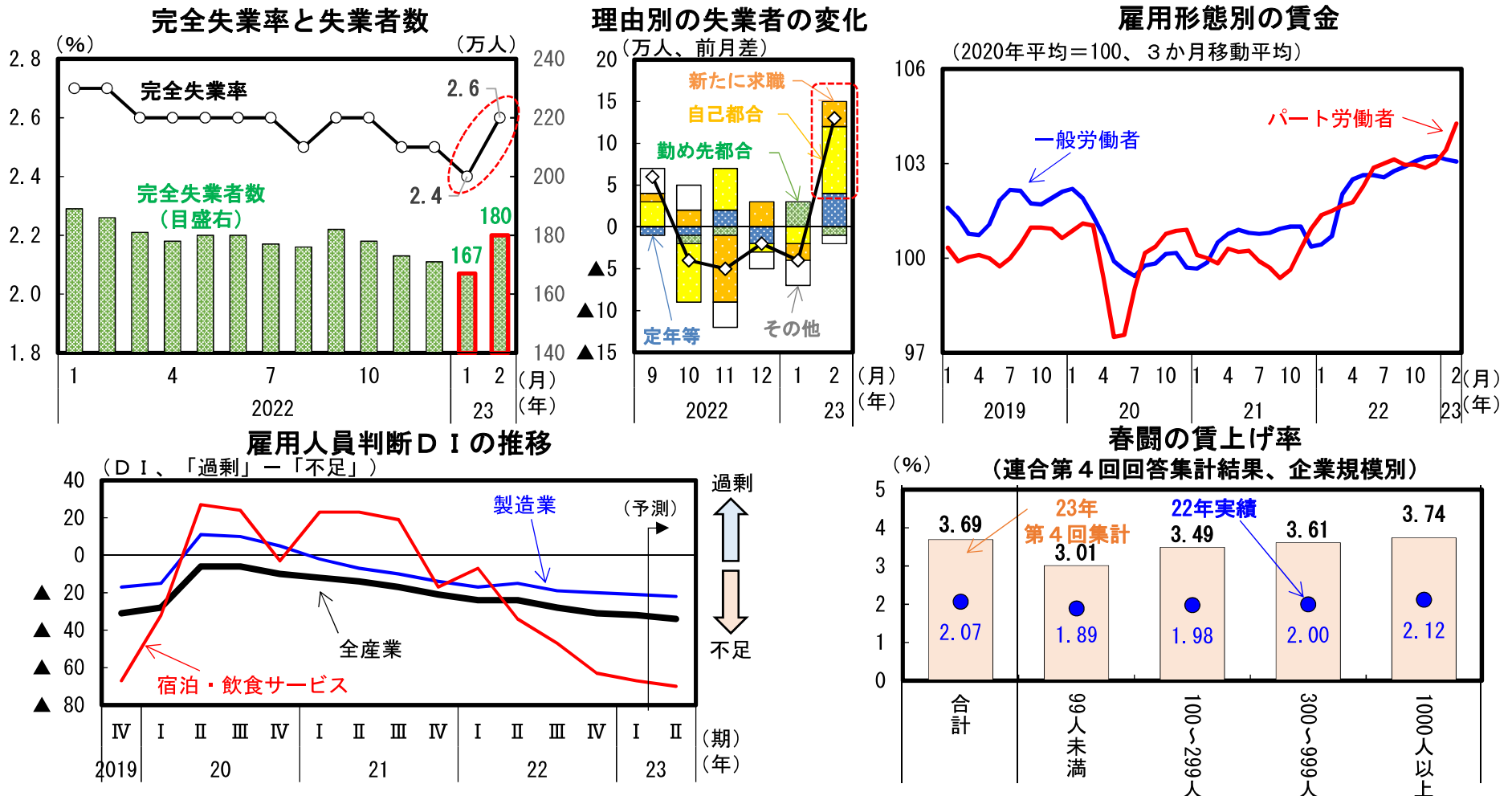
(先月の判断) 景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

<先行き>

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

今月のポイント(3) 雇用及び賃金の動向

- 失業率は2月に2.6%と5か月ぶりに上昇したが、増加した失業を理由別にみると、より良い条件を求める等の自己都合離職や、新たに求職活動を開始する者が増加しており、労働移動の動きもみられる。
- 企業の人手不足感は全産業で高まっており、中でも、経済社会活動の正常化に伴い業況の改善が進む宿泊・飲食サービス業で顕著。こうした中、パートタイム労働者の賃金は一般労働者を上回るペースで上昇。
- 春闘の賃上げ率を企業規模別にみると、第4回集計時点において、中小企業を含めすべての規模で3%を上回る大幅な賃上げが見込まれている。



(備考) 1. 左上左図及び左上右図は、総務省「労働力調査」。左下図は日本銀行「全国企業短期経済観測調査」により作成。
 2. 右上図は、厚生労働省「毎月勤労統計調査」により作成。現金給与総額の季節調整値を用いている。
 3. 右下図は、日本労働組合総連合会「2023 春季生活闘争 第4回回答集計結果について」により作成。平均賃金方式(加重平均)による定昇相当込み賃上げ率。

月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料

令和5年9月26日

内閣府

<日本経済の基調判断>

<現状> 【判断維持】

景気は、緩やかに回復している。

(先月の判断) 景気は、緩やかに回復している。

<先行き>

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。